

平成26年8月12日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 1件
(うちゴム管(都市ガス用) 1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 8件
(うち電気冷凍庫1件、インターホン1件、扇風機1件、ノートパソコン1件、
エアコン1件、ウォーターサーバー1件、錠(門扉用)1件、
温水洗浄便座1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 3件
(うち窓1件、エアコン(室外機)1件、エアコン1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 三洋電機株式会社が製造した扇風機について（管理番号A201400270）

① 事故事象について

工場で、三洋電機株式会社が製造した扇風機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400270	平成26年8月1日	EF-8PF	火災	埼玉県

※当該製品は長期使用（約39年）された製品

② 使用者への注意喚起

長年使用や古い扇風機は、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化により出火に至るおそれがあります。

御使用前に、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから外して、製造事業者等に相談ください。



- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、ファンが回ったり回らなかったりと動きが不安定である。

また、扇風機を使用していないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。古い扇風機では、電源が入っているにもかかわらず、ファンが回っていないことでスイッチが「切」の状態になっていると誤認し、そのまま放置して出火に至るおそれがありますので御注意ください。

三洋電機株式会社は、2007年（平成19年）8月24日より「長年ご使用の扇風機の使用についてのお知らせとお願い」（最終改訂：2012年6月12日）としてウェブサイトにて注意事項を掲載し、1977年（昭和52年）以前の扇風機の使用の中止及びそれ以降の製品であっても不具合がある場合には使用を中止するよう呼び掛けています。

ウェブサイト：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080430.html

【問合せ先】

三洋電機株式会社 扇風機相談室

電話番号：0120-34-0979

受付時間：9時～17時（土日祝日・事業者休日を除く。）

③独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）及び消費者庁の注意喚起

- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

2014年（平成26年）6月26日付け「エアコン及び扇風機による事故の防止について（注意喚起）」

ウェブサイト：<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs140626set.pdf>

- ・消費者庁

2013年（平成25年）9月6日付け「長期使用の扇風機で火災が発生していますー使用中の古い扇風機に御注意くださいー」

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/130906kouhyou_1_1.pdf

（参考）

長期使用の扇風機について注意喚起を行っている主な製造事業者及び問合せ先

ブランド名	製造事業者名	URL／問合せ先
SANYO 新日本電気 ゼネラル	三洋電機株式会社	http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080430.html 扇風機相談室 電話番号：0120-34-0979 受付時間：9:00～17:00（土日祝日・事業者休日を除く。） ※ 同社では、昭和52年以前の扇風機について、使用の中止を呼び掛けています。次のURLで昭和52年以前の販売機種か否かがチェックできます。 http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/search.html <次の事業者でも注意喚起を行っています。> 日本電気株式会社 http://www.nec.co.jp/news/info/20070824.html 株式会社富士通ゼネラル http://www.fujitsu-general.com/jp/i_info/fan/
SHARP	シャープ株式会社	http://www.sharp.co.jp/support/safety/fan_info.html お客様相談センター 電話番号：0120-078-178（固定電話、PHS） 0570-550-449（携帯電話） 受付時間：月曜～土曜：9:00～18:00 日曜・祝日：9:00～17:00 （年末年始を除く。）

TOSHIBA	東京芝浦電気株式会社 (現 東芝ホームテクノ株式会社)	http://www.toshiba.co.jp/tht/info/070907_j.htm 東芝生活家電ご相談センター 電話番号:0120-1048-76 022-774-5402(携帯電話、PHS) 受付時間:9:00~20:00
National	松下精工株式会社(現 パナソニックエコシステムズ株式会社)	http://panasonic.co.jp/es/peses/info/important/e-fan.html 扇風機ご使用相談窓口 電話番号:0120-880-107 受付時間:9:00~17:00(土日祝日・事業者休日を除く。)
HITACHI	株式会社日立製作所(現 日立アプライアンス株式会社)	http://kadenfan.hitachi.co.jp/lng_hyoji/elfan/index.html 日立長期使用家電品相談窓口 電話番号:0120-145-458(携帯電話、PHS利用可) 受付時間:9:00~17:30(土日祝日・年末年始を除く。)
富士電機 Fuji Electric	富士電機株式会社	http://www.fujielectric.co.jp/contact/index_fan.html 広報IR部広報課 電話番号:0120-12-6504(携帯電話、PHS利用可) 受付時間:9:00~17:00(土日祝日を除く。) 同時間帯以外でお急ぎの方 電話番号:0120-24-9277
MITSUBISHI	三菱電機株式会社	http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/naganen_kaden/kisyu01.html 問合せ窓口 電話番号:0120-490-499 受付時間:9:00~17:30(土日祝日・事業者休日を除く。)
森田電工 MORITA	森田電工株式会社(現 株式会社ユーイング)	http://www.uing.u-tc.co.jp/anounce/doc/a07091201.html 問合せ窓口 電話番号:0120-911-597 受付時間:9:00~17:00(土日祝日・事業者休日を除く。)

(2) アイホン株式会社が製造したインターホンについて（管理番号A201400268）

①事故事象及び事故再発防止策について

アイホン株式会社が製造したインターホンを焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、電源回路の電源コンデンサの液漏れが起こり、プリント基板のパターン間の絶縁劣化により短絡が生じ、発煙・発火に至ったものと考えられます。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400268	平成26年7月27日	MY-2CD	火災	大阪府

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2008年（平成20年）6月2日にウェブサイトへ情報を掲載し、対象製品について無償点検・部品交換（受話器のコード及びヒューズの交換）を呼び掛けています。

なお、今後も更なる無償点検及び部品交換の促進に向けて取組を強化することとしています。

③対象製品：製品名、機種・型式、対象製造時期、対象台数

製品名	機種・型式	対象製造時期	対象台数
インターホン （テレビドアホン）	MY-2CD	1992年8月 ～ 1999年9月	53,880
	MY-2C		
	MYH-2CD		36,545
	MYH-2C		
	MY-1ED		1,061
	MY-1E		
合計	91,486		

2008年（平成20年）6月2日からリコール（無償点検・部品交換）を実施
改修率 45.0%（2014年7月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

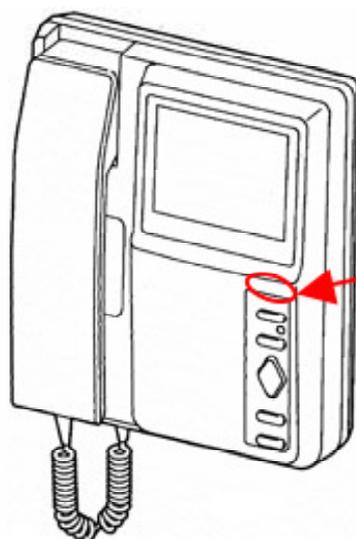
当該事故（管理番号A201400268）発生以前の、2010年度以降同社が製造したインターホンにおけるリコール対象の内容による事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき重大製品事故の報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	0	—	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	1	火災
2012年度	0	—			

<対象製品の確認方法>

対象機種

MY-2CD
MY-2C
MYH-2CD
MYH-2C
MY-1ED
MY-1E



この部分に機種名が
印字されています

(点検済みの場合)

点検済みであれば、機器底面に「点検済証シール」が貼付されております。
「点検済証シール」が貼付されている場合は、点検は実施されており御連絡は不要です。



点検済証シール例

点検済証 点検日 '08年6月2日 担当者 ○ ○

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

アイホン株式会社

電話番号：0120-234-889

受付時間：9時～18時

ウェブサイト：<http://www.aiphone.co.jp/customer/20080602.html>

(3) 東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンについて（管理番号A201400272）

①事象について

東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンを使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに、当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによって、トラッキング現象が生じ、出火に至ったものと考えられます。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400272	平成26年7月28日	RAS-406LDR	火災	東京都

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2004年（平成16年）8月19日にプレスリリース及びウェブサイトにて情報を掲載（2013年6月10日再掲載）し、翌8月20日に新聞社告を掲載するとともに、ダイレクトメールの送付、電話による連絡、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）、全国自治体の広報誌への情報掲載等を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修（シリコンを充てんしたコネクタカバーを被せる又はファンモーターの交換）を実施しています。

なお、本年は、3月から順次、東芝製品全般の修理時や消費生活センター等においてポケットティッシュ（対象製品の写真等を同封）やチラシの配布を行うとともに、地方公共団体の広報誌への情報掲載、介護施設や工事・サービス業者へのPRを行うなど、引き続き注意喚起及び無償点検・改修を呼び掛けています。

③対象製品：機種・型式、対象製造番号、対象製造期間、対象台数

機種・型式	対象製造番号	対象製造期間	対象台数
RAS- 225LDR、255LDR、285LDR、 325LDR、406LDR、506LDR、 255LDR-D、285LDR-D、 406LDR-D 255LDR-G、285LDR-G 2559SDR、2859SDR、 4069SDR、 V285DR	全ての製造番号	1998年9月 ～ 2000年6月 (RAS-xxxLD Rシリーズ)	218,626
RAS- 225YDR、255YDR、285YDR、 325YDR、405YDR、406YDR、 506YDR 255YDR-D、285YDR-D、 406YDR-D V285DR3、2833D-I		1999年9月 ～ 2001年3月 (RAS-xxxYD Rシリーズ)	287,560

HAS- M221FDR1、M281FDR1 RAK- 285DR3、405DR3 RAG- 283KE、323KE、403KEJ SIK- J500AX、J630AX、P500HX、 P630HX (東京ガス(株)ブランド) TS- B2842U-S(GY)、 B3242U-S(GY)、 B4052U-S (大阪ガス(株)ブランド) 144-0014、144-0015 144-0016、144-0017 144-0019 (東邦ガス(株)ブランド) THCI-4932RC	911*****、912***** 001*****、002*****、 003*****、004*****、 005*****、006*****、 007*****、008*****、 009*****、010*****、 011*****、012***** 101*****、102*****、 103*****、104*****、 105*****、106*****、 107*****、108*****、 109*****、110*****、 111*****、112***** 201***** (*****は任意の数字)	1999年11月 ～ 2002年1月	20,259
合 計			526,445

2004年(平成16年)8月19日からリコール(無償点検・改修)を実施
改修率 76.9%(2014年7月31日時点)

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号A201400272)発生以前の、2010年度以降同社が製造したエアコンにおけるリコール対象の内容による事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	1	火災	2011年度	3	火災
2013年度	3	火災	2010年度	5	火災
2012年度	3	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>

対象製品の外観(写真はLDRシリーズ)



対象製品の確認方法：対象製品の機種・型式は、下図の位置に表示されています。



製造番号の確認方法：銘板の右下隅に下記8桁の番号が印刷されています。

001 * * * * *

↑ ↑ ↑
月 連番

西暦下1桁
9:1999年製
0:2000年製
1:2001年製
2:2002年製

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

東芝キャリア株式会社

電話番号：0120-444-899

FAX番号：0120-445-175

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.toshiba-carrier.co.jp/info/article/article-02.htm>

(4) アイシン精機株式会社が製造し、株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L) が販売した温水洗浄便座について (管理番号A201400275)

①事象について

アイシン精機株式会社が製造し、株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L) が販売した温水洗浄便座を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、製造から長期間経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、出火に至ったものと考えられます。

管理番号	事故発生日	機種・型式	被害状況	事故発生都道府県
A201400275	平成26年8月3日	CW-100	火災	山梨県

②再発防止策について

アイシン精機株式会社及び株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L) は、当該製品を含む対象製品 (下記③) について、2008年 (平成20年) 11月26日にプレスリリース及びウェブサイトに情報を掲載し、新聞社告 (アイシン精機株式会社 : 同年12月3日、株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L) : 同年11月27日) を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行うなど、対象製品について無償点検の呼び掛けを行っております。なお、無償点検により不具合が確認された場合は、事故防止のため温水洗浄便座としての使用中止をお願いしています。

③対象製品 : ブランド名、製品名、型番、製造年、対象台数

◆株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L) が販売した製品

ブランド名	製品名	型番	製造年	対象台数
株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L)	シャワートイレ CW100シリーズ	CW130, CW131, CW110, CW111, CW100, CW101, CW130P, CW131P, CW110P, CW111P, CW100P, CW101P	1988年 ~1998年	144,765
	シャワートイレ CW500シリーズ	CW530, CW531, CW530T, CW531T, CW530R, CW531R, CW530K, CW531K, CW530F, CW531F	1988年 ~1991年	159,211
	シャワートイレ H I	H I, H I N H I F, H I K, H I R, H I S	1986年 ~1988年	78,402
	シャワートイレ (サニタリーナ) C II	C II, C II F, C II X, C II F X	1982年 ~1988年	65,917
	シャワートイレ (サニタリーナ) F III	F III, F III 障害者, F III F, F III K	1983年 ~1988年	80,250

	シャワートイレ E II	E II, E IIF, E IIC, E IICF	1986年 ～1988年	38,855
	シャワートイレ D I	D I, D IIF, D IIC	1984年 ～1989年	17,051
日本総合住生活株式会社	J S シャワートイレ (CW100ベース)	JSCW-130	1994年 ～1997年	2,218
ブラザー工業株式会社	シャワーベンザ WS-101 (シャワートイレE IIベース)	WS-101	1986年	700
松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	クリーンシャワ レH (シャワートイレF IIIベース)	CH5452	1986年 ～1988年	185
	クリーンベンザ HA (シャワートイレH Iベース)	CH5462	1986年	509
合 計				588,063

◆アイシン精機株式会社が販売した製品

ブランド名	製品名	型番	製造年	対象台数
アイシン精機株式会社	温水洗浄便座	18, 18F, 28, 28F	1988年 ～1993年	1,011
積水化学工業株式会社	シャワー便座	ASB01	1987年 ～1988年	1,309
	シャワー便座	ASE01	1989年 ～1993年	780
株式会社長府製作所	温水洗浄器	S-1, S-2	1983年 ～1986年	6,672
	温水洗浄器	S-32, S-42	1995年 ～1997年	1,699
	温水洗浄便座	S-11, S-21, S-31, S-41	1988年 ～1994年	3,823
株式会社マキタ電機製作所	温水洗浄トイレ	ST-100, ST-200	1986年 ～1988年	3,348

(現 株式会社マ キタ)	温水洗浄トイレ	ST-110, S-210, ST-300, ST-400	1988年 ～1992年	2,126
	合 計			20,768

2008年(平成20年)11月25日からリコール(無償点検)を実施
点検率 1.6%(2014年7月31日現在)

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号A201400275)発生以前の、2010年度以降両社が製造・販売した温水洗浄便座におけるリコール対象の内容による事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	0	—	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	1	火災
2012年度	1	火災			

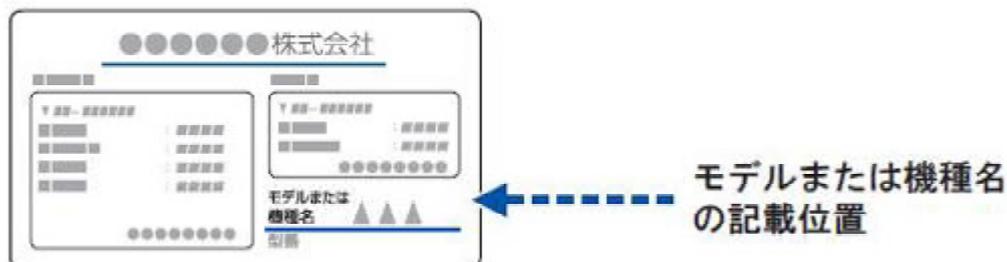
<対象製品の確認方法>

◆株式会社INAX(現 株式会社LIXIL)が販売した製品



◆アイシン精機株式会社が販売した製品

(販売会社名と製品名を示したラベル例と、その貼付位置)





④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う点検を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

また、便座電気コードが切れていないか、便座が温まらないなどの不具合がないかを御確認ください。もし、これらの不具合が確認された場合には、発煙・出火に至る場合があるため、電源プラグをコンセントからすぐに抜いてください。

なお、便座が割れている、ゴム足が外れている、ヒンジピンが外れているなどの状態で、便座を使用すると便座電気コードに負荷がかかり、事故に至る可能性が高くなります。

【問合せ先】

アイシン精機株式会社 アイシン温水洗浄便座ご確認係

電話 番号：0120-33-0056

受付 時間：8時30分～12時、13時～17時30分

(土・日・祝日・年末年始・ゴールデンウィーク・夏季休暇を除く。)

ウェブサイト：<http://www.aisin.co.jp/news/2008/009933.html>

株式会社 INAX (現 株式会社 LIXIL) INAX 温水洗浄便座ご確認係

電話 番号：0120-1794-27

受付 時間：9時～17時 (土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く。)

ウェブサイト：<http://www.inax.co.jp/warnings/081126/>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 木原、後藤、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(三洋電機株式会社が製造した扇風機について、アイホン株式会社が製造したインターホンについて、東芝キャリア株式会社が製造したエアコンについて、アイシン精機株式会社が製造し、株式会社 I N A X (現 株式会社 L I X I L) が販売した温水洗浄便座についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、大塚、中谷 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400276	平成26年7月26日	平成26年8月8日	ゴム管(都市ガス用)	EB10045	株式会社十川ゴム	火災	店舗で当該製品に接続しているガス機器に点火しようとしたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	7月28日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 8月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400267	平成26年7月29日	平成26年8月8日	電気冷凍庫	DF-300	株式会社ダイレイ(輸入事業者)	火災	入浴施設の飲食店で当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201400268	平成26年7月27日	平成26年8月8日	インターホン	MY-2CD	アイホン株式会社	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、電源回路の電源コンデンサの液漏れが起こり、プリント基板のパターン間の絶縁劣化により短絡が生じ、発煙・発火に至ったものと考えられる。	大阪府	製造から15年以上経過した製品 平成20年6月2日からリコールを開始(特記事項を参照) 改修率:45.0%
A201400270	平成26年8月1日	平成26年8月8日	扇風機	EF-8PF	三洋電機株式会社	火災	工場で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	製造から35年以上経過した製品 平成19年8月24日から不具合がある場合には使用中の呼び掛けを実施(特記事項参照)
A201400271	平成26年8月1日	平成26年8月8日	ノートパソコン	CF-N10EWHDS	パナソニック株式会社	火災	事務所で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400272	平成26年7月28日	平成26年8月8日	エアコン	RAS-406LDR	東芝キャリア株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに、当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによつて、トラッキング現象が生じ、出火に至ったものと考えられる。	東京都	製造から10年以上経過した製品 平成16年8月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:76.9%
A201400273	平成26年7月18日	平成26年8月8日	ウォーターサーバー	G01-A	株式会社エー・ファクトリー (輸入事業者)	火災	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは7月18日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201400274	平成26年7月20日	平成26年8月8日	錠(門扉用)	なし	株式会社LIXIL	重傷1名	使用者(80歳代)が当該製品に触れたところ、当該製品の取っ手手が破断し、転倒、脚を負傷した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201400275	平成26年8月3日	平成26年8月8日	温水洗浄便座	CW-100(株式会社INAX(現 株式会社LIXIL)ブランド)	アイシン精機株式会社(株式会社INAX(現 株式会社LIXIL)ブランド)	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、製造から長期間経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、出火に至ったものと考えられる。	山梨県	製造から20年以上経過した製品 平成20年11月26日からリコールを実施(特記事項を参照) 点検率:1.6%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400265	平成26年7月28日	平成26年8月7日	窓	重傷1名	施設で入居者(90歳代)が当該製品を開けようとしたところ、当該製品が外れて倒れてきたことに驚き転倒し、脚を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	長野県	
A201400266	平成26年7月29日	平成26年8月7日	エアコン(室外機)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	製造から15年以上経過した製品 8月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400269	平成26年7月26日	平成26年8月8日	エアコン	火災	異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気冷凍庫（管理番号：A201400267）



ノートパソコン（管理番号：A201400271）



錠（門扉用）（管理番号：A201400274）

オモテ



ウラ

